

平城遷都1300年祭の開催効果等について 第2回中間まとめ

平成22年12月1日

* (社) 平城遷都1300年記念事業協会調べ



1. 集客状況

奈良県内における平城遷都1300年祭への来場者数(宮跡4/24～11/7 県内1月～10月) : 約1,740万人

約363万人 (予測値の約1.5倍)

平城宮跡

4/24～11/7

■ 各季フェア(春季・夏季・秋季)

- ・春季 約54万人、夏季 約25万人、秋季 約97万人。 各季とも1日平均 約3万人を超える来場者(最高6万9千人(5/3)、6万人(5/2、11/7))
- ・春季・秋季フェアは予測値の約1.5倍、夏季フェアは予測値の約2倍の来場者

■ フェア期間外(5/10～8/19、8/28～10/8)

- ・春季フェア後は約136万人、予測値の約1.9倍 夏季フェア後は約51万人、予測値の約1.2倍
- ・1日平均 約1万人を超える来場者 (最高3万3千人(5/16))

約1,380万人 (予測値の約1.6倍、10ヶ月間で年間予測値の1,000万人の約1.3倍。前年比は以下のとおり)

県内各地

(社寺、地域イベント等)

1/1～10/31

- ・1月1日の県内4箇所でのオープニングイベントを皮切りに、「巡る奈良」をキーワードに、県内各地において地域の特性を生かした多彩なイベントを展開。
- ・本県初の「奈良大和路秘宝・秘仏特別開帳、特別講話」に約391万人の来場者。大半の社寺で前年比約2～10倍(各社寺等からの聞き取り)。
- ・地域イベント等に約649万人。各地域の実行委員会等による新規の1300年祭広域連携イベント・展覧会等に加え、遷都1300年を記念する取り組みを中心として、全県的に各地で前年比約2～5割増(各実施主体等からの聞き取り)。
- ・社寺等の伝統行事には約345万人。1300年祭の広範に及ぶ集客力の相乗効果により、全県的に各地で前年比約2～5割増(各社寺等からの聞き取り)。

平城宮跡事業 : 約363万人

	花と緑のフェア 春季フェア期間 (4/24～5/9)	フェア期間外 (5/10～8/19)	光と灯りのフェア 夏季フェア期間 (8/20～8/27)	フェア期間外 (8/28～10/8)	平城京フェア 秋季フェア期間 (10/9～11/7)	合計 198日間 (4/24～11/7)
来場者数(実績値)	54万4千人	135万8千人	25万人	51万1千人	96万9千人	363万2千人
最多来場者数/日	6万9千人 5月3日	3万3千人 5月16日	4万人 8月22日・27日	2万8千人 9月19日	6万人 11月7日	6万9千人 5月3日
日平均	3万4千人	1万3千人	3万1千人	1万2千人	3万2千人	1万8千人
来場者予測数値	37万2千人	72万4千人	12万3千人	42万2千人	63万2千人	227万3千人
最多来場者数/日	4万5千人 5月4日	1万8千人 8月14日	2万7千人 8月21日	3万3千人 8月28日	4万人 10月31日	4万5千人 5月4日
日平均	2万3千人	7千人	1万5千人	1万人	2万1千人	1万1千人
実績/予測値	約1.5倍	約1.9倍	約2倍	約1.2倍	約1.5倍	約1.6倍

参集者予測調査(H20年度)では、平城宮跡会場の会期を4/23～11/14(206日間)と設定し、参集者数を約250万人と予測。実績は約1.5倍

■ 団体客の来場状況 計 16,361 団体 (4/24～11/7)

【一般団体】 14,543団体 < 中部30%、近畿(奈良県を除く)23%・中国・四国15%、関東14%、北陸8% 他 > 全都道府県から受入
【学生団体】 1,818団体 < 近畿(奈良県を除く)27%、関東23%、中部22%、中国・四国12% 他 >

「巡る奈良」事業(県内各地) : 約1,380万人

■ カテゴリー別 (1月～10月)	実績値 (協会が把握できたもの)	総来場者 (推計)
秘宝・秘仏特別開帳、特別講話	383万人 イベント数 83件中 80件 計	391万人
地域イベント等	596万人 イベント数 697件中 623件 計	649万人
伝統行事等	243万人 イベント数 523件中 386件 計	345万人
計	1,222万人 イベント数 1,303件中 1,089件 計	1,385万人

■ エリア別 (1月～10月)	実績値 (協会が把握できたもの)	総来場者 (推計)
北和 (平城京、斑鳩・信貴山 周辺)	805万人 イベント数 763件中 609件 計	912万人
中南和 (葛城、飛鳥・藤原、大和高原・宇陀、吉野 周辺)	417万人 イベント数 540件中 480件 計	473万人
計	1,222万人 イベント数 1,303件中 1,089件 計	1,385万人

公式ガイドブックに掲載のイベント等について、各イベント実施主体への聞き取りにより、協会が来場者数を把握できたものについて集計し、これをもとに総来場者数を推計。(平成22年10月末現在)

○ 奈良市内の観光案内所では、お客様対応数が2割増加

観光案内所3箇所
近鉄奈良駅、JR奈良駅、奈良県観光インフォメーションセンター(奥村記念館1F)

○ 県庁周辺(県庁屋上:対前年同期比42%増)など好調を維持

「ならまち(ならまち格子の家)」や「きてみてならSHOP」も例年を上回る入り込み

○ 中南和地域の施設は、特定月に増加したものの、平均ではほぼ例年並み

H21年9月はシルバーウィーク(5連休)の気候も穏やかで、好天が続いた影響等により、秋季の観光客が例年に比べ大幅に増加した関係で、H22年の対前年同期比がマイナスとなっている施設等も見受けられた。

○ 県営観光自動車駐車場においては、バス駐車台数が3割増加

県営観光自動車駐車場...登大路、大仏前、高畑の3箇所の合計台数

7月～10月(合計値)の対前年同期比

【奈良市】

観光案内所...120% (7～9月)

県庁屋上来場者...142%

きてみてならSHOP...112%

ならまち格子の家...109%

奈良国立博物館...119%

県観光自動車駐車場(バス)...130%

〃 (普通車)...108%

【中南和】

万葉文化館...101%

橿原考古学研究所附属博物館...102%

石舞台駐車場...77%

大台ヶ原...93%

印は7月～9月の対前年同期比



奈良市内

【観光案内所での対応者数】

単位:(人)

区分	観光案内所					
	4～6月	7月	8月	9月	7～9月計	4～9月計
H22	146,492	30,508	39,744	33,371	103,623	250,115
H21	85,890	23,461	33,175	29,722	86,358	172,248
対前年同期比	171%	130%	120%	112%	120%	145%

奈良県、奈良市調べ

【県庁屋上来場者数】

単位:(人)

区分	県庁屋上来場者						
	4～6月計	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	51,784	7,834	33,020	6,453	18,814	66,121	117,905
H21	28,749	4,571	24,673	4,988	12,437	46,669	75,418
対前年同期比	180%	171%	134%	129%	151%	142%	156%

県管財課調べ

【きてみてならSHOP来店者数】

単位:(人)

区分	きてみてならSHOP						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	25,400	5,190	9,140	6,040	13,325	33,695	59,095
H21	17,710	4,110	7,970	5,650	12,290	30,020	47,730
対前年同期比	143%	126%	115%	107%	108%	112%	124%

奈良県産業共助会調べ

【ならまち格子の家】

単位:(人)

区分	ならまち格子の家						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	31,876	6,223	7,471	7,454	12,336	33,484	65,360
H21	31,309	5,007	6,207	8,124	11,433	30,771	62,080
対前年同期比	102%	124%	120%	92%	108%	109%	105%

奈良市調べ

【奈良国立博物館】

単位:(人)

区分	国立博物館						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	202,166	11,648	37,356	32,338	164,491	245,833	447,999
H21	144,885	19,679	32,429	22,405	132,238	206,751	351,636
対前年同期比	140%	59%	115%	144%	124%	119%	127%

奈良国立博物館調べ

中南和

【万葉文化館】

単位: (人)

区分	万葉文化館						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	80,197	6,480	9,057	10,176	14,182	39,895	120,092
H21	31,668	6,491	9,688	10,965	12,411	39,555	71,223
対前年同期比	253%	100%	93%	93%	114%	101%	169%

万葉文化館調べ

【橿原考古学研究所附属博物館】

単位: (人)

区分	橿原博物館						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	28,685	2,802	5,026	2,929	4,911	15,668	44,353
H21	11,785	2,964	4,375	3,086	4,898	15,323	27,108
対前年同期比	243%	95%	115%	95%	100%	102%	164%

橿原考古学研究所附属博物館調べ

【石舞台駐車場】

単位: (台)

区分	石舞台駐車場						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	11,660	696	1,141	3,094	3,833	8,764	20,424
H21	11,261	685	1,375	5,684	3,586	11,330	22,591
対前年同期比	104%	102%	83%	54%	107%	77%	90%

明日香村観光開発公社調べ

【大台ヶ原入り込み客数】

単位: (人)

区分	大台ヶ原						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	39,969	13,088	21,930	18,012	40,153	93,183	133,152
H21	39,759	9,123	19,184	24,812	47,328	100,447	140,206
対前年同期比	101%	143%	114%	73%	85%	93%	95%

大台ヶ原ビジターセンター調べ



県営観光自動車駐車場

【県観光自動車駐車場(バス)】

単位: (台)

区分	県観光自動車駐車場(バス)						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	20,542	2,914	2,190	4,474	8,280	17,858	38,400
H21	11,135	1,903	1,877	3,773	6,135	13,688	24,823
対前年同期比	184%	153%	117%	119%	135%	130%	155%

奈良公園管理事務所調べ

【県観光自動車駐車場(普通車)】

単位: (台)

区分	県観光自動車駐車場(普通車)						
	4～6月	7月	8月	9月	10月	7～10月計	4～10月計
H22	63,873	16,155	36,176	19,413	22,535	94,279	158,152
H21	58,361	15,237	29,456	20,261	22,126	87,080	145,441
対前年同期比	109%	106%	123%	96%	102%	108%	109%

奈良公園管理事務所調べ

○ 定期観光バス(奈良交通)の利用者数は、前年の約2倍を上回る増加

7月～9月(合計値)の対前年同期比

奈良公園周辺コース ... 249%

法隆寺西の京方面コース ... 187%



両コースを合わせると214%

定期観光バス

【奈良交通定期観光バス】

単位: (人)

区分	定期観光バス(奈良公園周辺)					
	4～6月	7月	8月	9月	7～9月計	4～9月計
H22	7,110	1,922	2,434	2,280	6,636	13,746
H21	3,229	760	912	995	2,667	5,896
対前年同期比	220%	253%	267%	229%	249%	233%

奈良交通(株)調べ

【奈良交通定期観光バス】

単位: (人)

区分	定期観光バス(法隆寺西の京方面)					
	4～6月	7月	8月	9月	7～9月計	4～9月計
H22	7,871	1,792	2,249	2,307	6,348	14,219
H21	4,121	857	1,170	1,369	3,396	7,517
対前年同期比	191%	209%	192%	169%	187%	189%

奈良交通(株)調べ

秘宝・秘仏特別開帳等

地域	社寺名	行事名 等	参拝者数	備 考
北 和	朝護孫子寺	毘沙門天立像(奥秘仏)特別開帳 (1.1～1.17、2.1～2.16、7.1～7.15) 信貴山縁起絵巻特別開帳 (2.1～2.16、4.22～5.5)	24,000人	前回の寅年に比べ1月は3倍、 2～3月は1.5倍 有料参拝者数上半期昨年比 3.6倍
	唐招提寺	金堂落慶(拝観は10年ぶり) (21.11.01～)	開山忌(6.5～6.6)には 1万人を超える参拝者	有料参拝者数昨年比 3.5倍
	中宮寺	表御殿特別開帳(2.1～2.28) 聖徳太子絵殿等開帳(10.23～11.14)	16,000人 1,500人	例年の 約4倍
	法隆寺	伝法堂特別開帳 (2.18～2.28)	21,000人	例年の 約2倍
		上御堂特別開帳 (3.1～3.31)	63,000人	例年の 約1割増
	伝香寺	地藏菩薩立像特別開帳 (3.10～4.4)	4,000人	例年の 数倍
	法華寺	十一面観音立像特別開帳など (3.20～4.7、5.1～5.9、6.5～6.9、10.23 ～11.11)	50,000人	例年の 約4倍
	春日大社	春日大社神殿の秘宝など特別展示 (4.1～7.19)	37,000人	昨年同時期の 2倍以上
	西大寺	愛染堂客殿、愛染明王坐像など特 別開帳(4.1～11.15)	50,000人	有料参拝者数昨年比 2倍
	東大寺	俊乗堂特別開帳 (4.2～4.15)	6,000人	通常年2日公開
	史跡頭塔	特別開帳(4.24～5.9 10.9～11.7)	9,000人	秋期は春期の 1.5倍
	石上神宮	国宝 七支刀特別拝観 (5.17～6.11の平日)	2,800人	事前決定者限定拝観 (応募者は2.2倍)
	元興寺	国宝 禅室特別拝観など (2.7～2.14 5.1～5.31 10.1～11.23)	41,000人	例年の 2.7倍
	興福寺	五重塔内陣、東金堂後堂など特別 拝観(10.9～11.23)	80,000人	正倉院展の開催により参拝者 が急増
		国宝館リニューアル (2010.3.1～)	900,000人	連日待ち時間が出る状況
	十輪院	不動明王及び二童子立像特別開帳 (10.10～11.14)	3,000人	例年の10倍以上の参拝者
	正暦寺	瑠璃殿での寺宝、薬師如来倚像特 別拝観(10.10～10.31)	1,000人	例年の数倍以上の参拝者



地域	社寺名	行事名 等	参拝者数	備 考
中 南 和	室生寺	五重塔初層開扉 五智如来等特別開帳 金堂の下陣からの拝観 (1.1～1.17、3.13～3.28、5.15～8.31、 9.11～9.26)	43,000人	有料参拝者数上半期昨年比 1.1倍(昨年はJR東海キャンペ ンで増加。一昨年比では、1.3 倍。)
	長谷寺	十一面観世音菩薩御影大画軸特別 開帳 長谷寺大観音特別拝観 (3.1～5.31)(10.23～12.12)	76,000人	有料参拝者数昨年比 1.2倍
	壺阪寺	三重塔初層内陣特別開帳 (3.1～5.31 10.1～12.18)	61,000人	昨年は本尊御拭い実施一 昨年(例年)の6割増、秋は純増
	當麻寺	国宝 東塔・西塔特別開帳 (5.20～6.20)	43,000人 (東塔・西塔拝観者合計)	有料参拝者数上半期昨年比 2.0倍
	橘寺	伝・日羅立像、地藏菩薩立像特別開 帳(4.10～5.9 10.9～11.7)	29,000人	例年の約1.5倍の参拝者
	金峯山寺	金剛蔵王権現像特別開帳 (9.1～12.9)	48,000人	例年同時期の 10倍以上
	榮山寺	薬師如来坐像特別開帳 (4.25～5.16 9.25～11.21)	4,600人	例年の4割強の増加

特別講話

地域	社寺名	講師 等	聴講者数	備 考
北 和	中宮寺	日野西門跡講話(2.13)	80人	応募者232人
	伝香寺	西山住職講話(3.22)	120人	応募者273人
	春日大社	岡本権宮司講話(4.17)	150人	応募者217人
	西大寺	佐伯執事長講話(4.25)	180人	応募者237人
	薬師寺	村上執事長講話(5.30)	150人	応募者256人
	淨教寺	島田前住職講話(6.5)	300人	応募者333人
	十輪院	橋本住職講話(10.16)	120人	応募者124人
	新薬師寺	小倉前執事長講話(10.31)	70人	応募者174人
中 南 和	長谷寺	高梨寺務長講話(5.16)	100人	応募者136人
	當麻寺	川中當麻寺奥院住職講話(5.22)	120人	応募者150人
	安倍文殊院	東執事長講話(7.18)	200人	応募者274人
	橘寺	中西進万葉文化館長(10.30)	90人	応募者108人

* 参拝者数は平成22年10月末現在。各社寺への聞き取りによる。

地域イベント

エリア	行事名等	参集者数	備考
北和	オープニングイベント(12.31～1.1) ＜玄武＞奈良公園会場	10,000人	
	若草山山焼き(1.23)	180,000人	昨年、約16万人
	しあわせ回廊なら瑠璃絵 (2.11～2.14)	277,000人	期間中宿泊者数 ：昨年の約4割増 奈良市内旅館・ホテル (35施設) 出所)県観光振興課
	全国光とあかり祭 (7.31～8.4) なら燈花会 (8.5～8.14)	1,061,000人	なら燈花会は過去最高の集客数 (92万人)
	なら国際映画祭2010(8.25～8.29)	5,500人	
	パサラ祭り(8.27～8.29)	34,700人	
	日本最古の道“山の辺の道”ウォーク&クリーンハイク(9.26)	1,400人	例年の2.4倍
	大和まほろば国際スリーディウォーク(10.1～10.3) 吉野、桜井、平城宮跡から県内各地	6,000人	昨年の1.5倍
	奈良フードフェスティバル (10.1～10.31)	90,000人	
	オープニングイベント(12.31～1.1) ＜白虎＞朝護孫子寺会場	8,400人	
斑鳩・信貴山周辺	史跡藤ノ木古墳石室特別公開 (3.21、22、27、28)	2,948人	斑鳩文化財活用センター竣工と同時に公開
	へぐり時代行列(4.25)	15,000人	
	全国金魚すくい選手権大会(8.22)	12,000人	
	あんど夢あかり「歴史シンポジウム」 「安燈火」(9.18～9.19)	1,750人	
中南和	第4回「町屋の雛めぐり」(高取町土佐) (3.1～3.31)	49,100人	昨年、約3.8万人
	飛鳥藤原みやび祭 (4.2～4.3)	100,000人	神武祭は例年2～3万人
	美しき飛鳥の祝祭 ＜日韓芸能祭、世界遺産劇場＞ (5.14～6.5)	メインイベント 30,600人 体験イベント 1,500人	
	2010大和桜井万葉まつり (金屋河川敷公園)(9.11)	18,000人	昨年の1.3倍
	ムーンライト藤原京(藤原宮跡) (9.18～9.19)	30,000人	昨年の1.2倍
	飛鳥光の回廊、彼岸花まつり (9.18～9.20)	37,000人	昨年とほぼ同数
	磯城の里ウォーク(10.17)	1,000人	
	古代葛城歴史回廊＜リレウォーク＞ (4.29香芝市、5.9葛城市、 9.12広陵町)	1,000人	
	葛城山つづじまつり(5.1～5.31)	107,000人	
	奥田の蓮取り行事(7.7)	1,200人	「役の行者不思議の世界」イベントと連携、例年の2倍の集客
葛城周辺	広陵かぐや姫まつり(竹取公園) (9.25～9.26)	23,000人	昨年の1.2倍
	全国都市緑化ならフェア (馬見丘陵公園)(9.18～11.14)	286,200人	

エリア	行事名等	参集者数	備考
中南和	大和高原・宇陀	オープニングイベント(12.31～1.1) ＜青龍＞室生寺会場	1,500人
		伊勢本街道納涼の旅(7.24～7.25) 夏の宇陀めぐり(7.1～8.31)	3,000人
	吉野周辺	オープニングイベント(12.31～1.1) ＜朱雀＞金峯山寺会場	2,000人
		桜まつり (3.27～4.25吉野町)	270,000人
		かげろう座 (5.30五條市)	68,000人
		吉野川まつり(8.15五條市)	100,000人
			昨年、5万5千人 過去最高の人出

フォーラム・展覧会

	行事名等	参集者数	備考
北和	秘宝・秘仏特別開帳スタートフォーラム奈良 (奈良県新公会堂 2.11)	500人以上 (定員:500)	公募・抽選(応募:800人)
	日本ペンクラブ「平和の日」のつどい (奈良県文化会館 3.3)	1,300人以上(定員:1,300)	公募・先着順(応募:3,000人)
	藤原不比等シンポジウム (奈良県文化会館 6.2)	1,300人	
	M.C.エッシャー・展(3.20～5.9) (奈良県立美術館)	総入館者数 35,759人	前年同期比率 約1.4倍
	大遣唐使展(4.3～6.20) (奈良国立博物館)	総入館者数 202,166人	同館で史上4番目の入館者 (正倉院展を除く) 前年同期比率 約1.4倍
	平城遷都1300年祭参加 中西繁展「鹿嶋と再生 - 時空を超えて」(9/14～9/20) (奈良県文化会館)	総入館者数 2,800人	後援団体、機関の効果的な広報 支援を得て、予想以上の観覧者 が来場
	世界宗教者平和会議奈良まほろば大会(9.25～9.27) (奈良県文化会館ほか)	6,000人	
	第12回世界歴史都市会議(10.12～10.15) (奈良100年会館ほか)	1,500人	
	国際書法交流奈良大展 (10/14～10/19) (奈良県文化会館)	総入館者数 6,000人	後援団体、機関の効果的な広報 支援を得て、予想以上の観覧者 が来場
	第62回正倉院展 (10/23～11/11) (奈良国立博物館)	124,859人	
中南和	平山郁夫展(4.17～5.30) (県立万葉文化館)	総入館者数 67,005人	特別展として開館以来最大の入 館者数 前年同期比率 約3.4倍
	キトラ古墳壁画展(5.15～6.13) (飛鳥資料館)	総入館者数 89,272人	キトラ展として過去最高の入館者 数
	大唐皇帝陵展(4.24～6.20) (県立橿原考古学研究所附属博物館)	総入館者数 25,143人	通年の2倍以上の入館者数 前年同期比率 約2.6倍
	吉野未来フォーラム (大淀町文化会館 6.5)	1,000人	
	全国ゆかりの地ネットワーク地域づくりフォーラム(8.29～8.30) (橿原市 万葉ホール)	850人	
	～祈りの回廊～奈良大和路秘宝秘仏特別開帳セカンドフォーラム(9.4) (橿原文化会館)	800人	
	「ここが邪馬台国」フォーラム～甞れ卑弥呼王国～(9.11) (桜井市市民会館)	1,100人	

* 参集者数は平成22年10月末現在。各イベント実施主体への聞き取りによる。

2. 平城遷都1300年祭の開催効果等

県内観光客の動向

* 奈良県観光振興課調べ

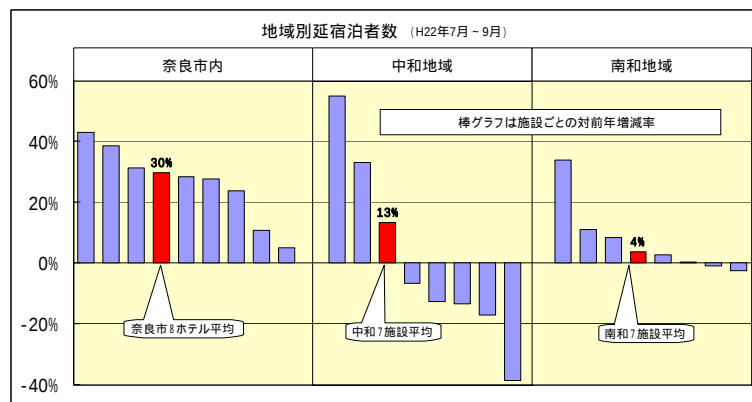
- 7月～9月の宿泊者数速報値(抽出調査) 詳細は後日改めて発表予定
- 対前年同期比(7～9月)
奈良市内(8施設):平均130%、中和地域(7施設):平均113%、南和地域(7施設)、平均104%

【宿泊客数調べ】

単位:(人)

区分	奈良市内 8ホテル	中和7施設	南和7施設	計
H22	150,481	41,242	21,547	213,270
H21	115,989	36,433	20,771	173,193
対前年同期比	130%	113%	104%	123%

県観光振興課による宿泊施設への聞き取り調査



【参考】中和地域の比較的小規模な宿泊施設については、前年(H21)の近畿まほろば総体の影響が大であった。

* (社)平城遷都1300年記念事業協会調べ

- 県内宿泊の個人旅行者数(大手旅行会社への調査)
・1～9月実績の前年比は約1.8倍
・10～12月の予約状況の前年・同時期比は約1.3倍
- 県内宿泊の修学旅行校数(大手旅行会社への調査)
・平成20年度比で約1.4倍

個人旅行者(県内宿泊)の状況

1月～9月(実績)

	平成21年	平成22年	前年同期比
1～9月 計	106,104人	188,714人	178%

10月～12月(予約状況)

	平成21年	平成22年	前年同期比
10月～12月	51,193人	67,131人	131%

大手旅行会社(近畿日本ツーリスト、JTB、日本旅行)取扱による個人旅行の奈良への宿泊人数であり、団体旅行、修学旅行は含まない。(H22.10月末現在)

修学旅行(県内宿泊)の状況

平成20年度	平成22年度(見込み)	H20年度比
1,031校	1,461校	142%

平成21年度は新型インフルエンザの流行により、修学旅行客の落ち込みが大きかったため、平成20年度データと比較

(大手旅行会社(近畿日本ツーリスト、JTB、日本旅行、トップツアー)への調査 H22.10月末現在)

鉄道の利用状況

* 奈良県観光振興課調べ

- 近鉄主要駅での普通乗車券発売枚数
 - ・記録的な猛暑であったが、概ね平年並みで推移一部ではそれを上回った。
 - ・4月～6月に続き、「西ノ京駅」の伸び率が最も大きかった。
→薬師寺の「東塔特別開扉」4/8～10/31 (秘宝・秘仏特別開帳)
 - ・9月の吉野駅は約6割増加
→金峯山寺の「金剛蔵王権現像」9/1～12/9 (秘宝・秘仏特別開帳)
 - ・H21年9月は、シルバーウィーク(5連休)や好天が続いたこと等により観光客増
奈良県地域別・月別観光客数 (『奈良県観光客動態調査報告書』より)
H20年9月: 2,364,200人 → H21年9月: 2,663,900人

普通乗車券販売枚数

各駅で販売された普通乗車券の枚数で、定期券やICカード等による乗車分は含んでいない。

区分	対前年同期比				
	4～6月計	7月	8月	9月	合計
大和西大寺	135%	112%	120%	109%	114%
近鉄奈良	115%	99%	102%	95%	99%
西ノ京	147%	110%	136%	128%	124%
信貴山下	112%	107%	104%	106%	106%
当麻寺	127%	101%	95%	85%	93%
桜井	109%	101%	99%	98%	99%
長谷寺	112%	97%	96%	93%	95%
室生口大野	111%	102%	104%	90%	98%
橿原神宮前	115%	100%	94%	97%	97%
飛鳥	112%	105%	95%	77%	87%
吉野	93%	109%	98%	159%	121%
合計	119%	104%	107%	101%	104%

近畿日本鉄道(株)調べ

来場者消費額(試算) 1月～10月

○来場者消費額: **約967億円**

(平城宮跡事業4/24～10月末、県内各地1月～10月末)

・9月末までのアンケート結果(複数箇所への来場等)をもとに
来場者数を実人数ベースに換算し、来場者消費額を試算。

・平城宮跡に来場 約334万人 (宿泊79万人、日帰り255万人)

〔上記のうち、
平城宮跡と県内各地
の両方に来場
約215万人〕

・県内各地に来場 約524万人 (宿泊90万人、日帰り434万人)
(訪問箇所数を反映) 10月末現在

合 計 約858万人 (宿泊169万人、日帰り689万人)

・来場者1人あたりの消費額は右表のとおり(アンケートによる平均消費額)

平成20年度に実施した経済波及効果予測調査では、
年間の来場者消費約800億円(実人数ベース864万人)と予測。

○経済波及効果

平城遷都1300年祭の会期終了後、事業支出(協会・他主体)や
来場者消費額をとりまとめ、年度末を目途に、経済波及効果の
数値を算出・公表する予定。

●平城宮跡事業(4/24～10/31):約447億円

来場者数	消費地	消費額	小計	来場者数	消費地	消費額	小計	合計
県内宿泊客 約79万人	奈良県内	19,288円	約153億円	日帰り客 約255万人	奈良県内	3,718円	約95億円	約248億円
	奈良県外	10,905円	約86億円		奈良県外	4,449円	約113億円	約199億円
	合計	30,193円	約239億円		合計	8,167円	約208億円	約447億円

●「巡る奈良」事業(県内各地)(1/1～10/31):約520億円 平城宮跡事業への来場者との重複を除く

来場者数	消費地	消費額	小計	来場者数	消費地	消費額	小計	合計
県内宿泊客 約90万人	奈良県内	23,858円	約215億円	日帰り客 約434万人	奈良県内	3,004円	約130億円	約345億円
	奈良県外	13,113円	約118億円		奈良県外	1,313円	約57億円	約175億円
	合計	36,971円	約333億円		合計	4,317円	約187億円	約520億円

メディア露出によるPR効果、「せんとくん」効果

【メディア露出の状況】

○新聞・雑誌等(平成21年11月～平成22年9月)

掲載件数 : **3,580件**

広告換算額 : **62億8169万円**

新聞は県外露出分

○テレビ(平成22年4月・5月・8月) フェア実施月のみ調査。秋季分は集計中。

放送件数 : **410件** 放送秒数 : **32時間40分10秒**

広告換算額 : **162億2190万円**

(協会によるクリッピング及び委託調査による)

【ライセンス商品の状況】

○ライセンスグッズアイテム数:**約210アイテム(約1700種類)**
(内 食品:約60アイテム/非食品:約150アイテム)

○ライセンス使用申請企業数:**193社**(県内98社/県外95社)

○契約金額:**約48億円**

(平成22年10月末現在・マスターライセンス・オフィス調べ)

【ホームページへのアクセス状況】

総アクセス件数(平成22年1月～10月)

4,364,290件

【コールセンターへの問い合わせ状況】

総問い合わせ件数(平成22年1月～10月)

65,519件

【せんとくんの各種イベントへの出演回数】

計 814回

【県内】594回 【県外】220回(うち首都圏46回)

(平成22年1月～10月・平城宮跡会場での出演を除く)



3. 来場者からの評価 (来場者アンケートの結果より)

平城遷都1300年祭に対する評価や、平城遷都1300年祭が地域に及ぼす経済効果などを把握するため、平城宮跡会場及び県内各地のイベント会場で来場者アンケートを実施。
(今回の第2回中間まとめは、9月までに実施したアンケートの10月末時点の集計結果。
10～12月実施分(宮跡2回、県内9回予定)については、最終取りまとめで反映予定。)

■アンケート実施日

* (社)平城遷都1300年記念事業協会調べ

・平城宮跡事業(平城宮跡会場)

春季フェア期間中: 4月27日(火)・5月3日(月・祝)、フェア期間外: 6月18日(金)・6月19日(土)
夏季フェア期間中: 8月22日(日)・8月23日(月) 秋季フェア期間中実施分(10/22、23)は回収(集計)中のため反映していない
計6日間 配布計2,250枚 / 回答計1,245枚(回収率55.3%)

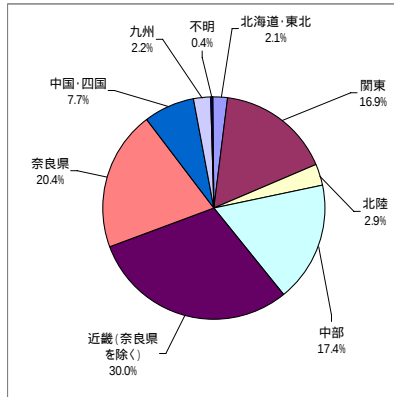
・「巡る奈良」事業(県内15箇所)

1月1日(金・祝)～9月26日(日)のうち15日間 配布計1,875枚 / 回答計 913枚(回収率48.7%)
10～12月実施分は回収(集計)中のため反映していない

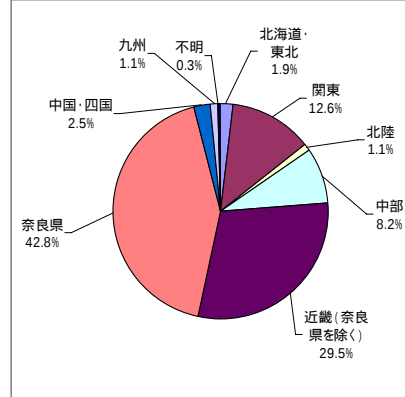
来場者発地別内訳

- ・県外からの来場者 平城宮跡79.2%、県内各地56.9%
- ・主な発地別 平城宮跡: 近畿30%、奈良県20.4%、中部17.4%、関東16.9%
県内各地: 奈良県42.8%、近畿29.5%、関東12.6%、中部8.2%

●平城宮跡事業



●「巡る奈良」事業(県内各地)



来訪目的

- ・平城遷都1300年祭の目的集客性が高い
- ・平城宮跡 76.5%
- ・県内各地 56.8%

●平城宮跡事業

- 1) 平城遷都1300年祭の関連イベント・施設
を見ることが目的で訪れた **76.5%**
- 2) 他の観光地(奈良県内または県外)を
訪れたついでに見に来た 9.2%
- 3) その他 14.3%

●「巡る奈良」事業(県内各地)

- 1) 平城遷都1300年祭の関連イベント・施設
を見ることが目的で訪れた **56.8%**
- 2) 他の観光地(奈良県内または県外)を
訪れたついでに見に来た 18.3%
- 3) その他 24.9%

主要交通手段

- ・特に平城宮跡会場では、公共交通機関の利用を徹底的に呼びかけるとともに、春季・夏季フェア期間中にはパーク&バスライドを実施したことにより、マイカーによる来場者比率の抑制につながったと考えられる。
- ・会場周辺の交通渋滞を回避、最寄駅(近鉄大和寺駅)からの歩行者誘導を安全に実施。

●平城宮跡事業

- < 県内居住者 >
- 鉄道(JR・私鉄) 53.9%
 - マイカー 26.6%
 - 路線バス・乗合バス 12.5%
 - 貸切(観光)バス 4.7%

- < 県外居住者(奈良県までの交通手段) >
- 新幹線 21.7%
 - 飛行機 4.8%
 - 長距離バス 6.9%
 - 鉄道(JR・私鉄) 70.7%
 - マイカー 31.5%
 - 路線バス・乗合バス 5.1%
 - 貸切(観光)バス 23.0%

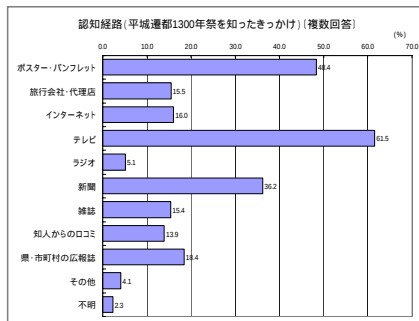
●「巡る奈良」事業(県内各地)

- < 県内居住者 >
- 鉄道(JR・私鉄) 33.1%
 - マイカー 56.2%
 - 路線バス・乗合バス 7.9%
 - 貸切(観光)バス 0.0%

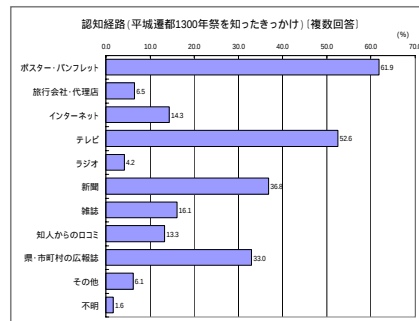
- < 県外居住者(奈良県までの交通手段) >
- 新幹線 24.6%
 - 飛行機 2.9%
 - 長距離バス 4.8%
 - 鉄道(JR・私鉄) 80.2%
 - マイカー 42.7%
 - 路線バス・乗合バス 6.5%
 - 貸切(観光)バス 6.9%

認知経路

●平城宮跡事業



●「巡る奈良」事業(県内各地)

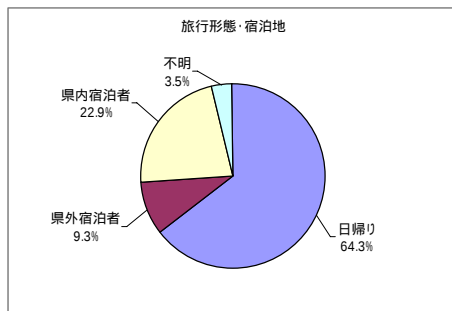


< 複数回答のうち主要な項目 >

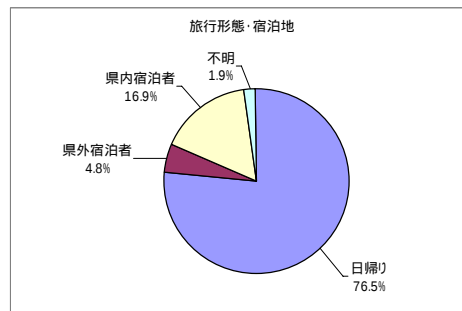
旅行形態・宿泊地

- ・平城宮跡 宿泊率32.2% (県内宿泊率は22.9%)
- ・県内各地 宿泊率21.7% (県内宿泊率は16.9%)

●平城宮跡事業



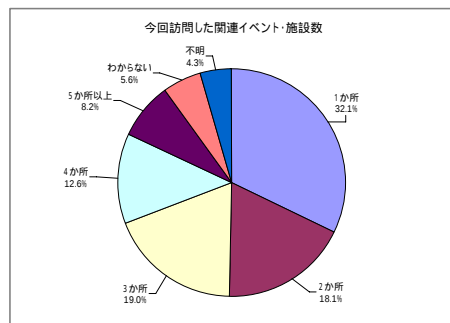
●「巡る奈良」事業(県内各地)



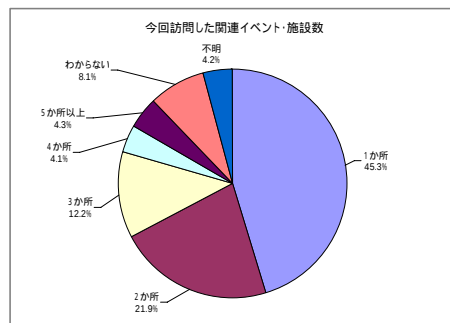
訪問箇所数

- ・大半の来場者が複数の1300年祭関連イベント・施設に参加
- ・平城宮跡 約6割の来場者が宮跡会場以外の関連イベント・施設に参加
- ・県内各地 約4割の来場者が複数の関連イベント・施設に参加

●平城宮跡事業



●「巡る奈良」事業(県内各地)



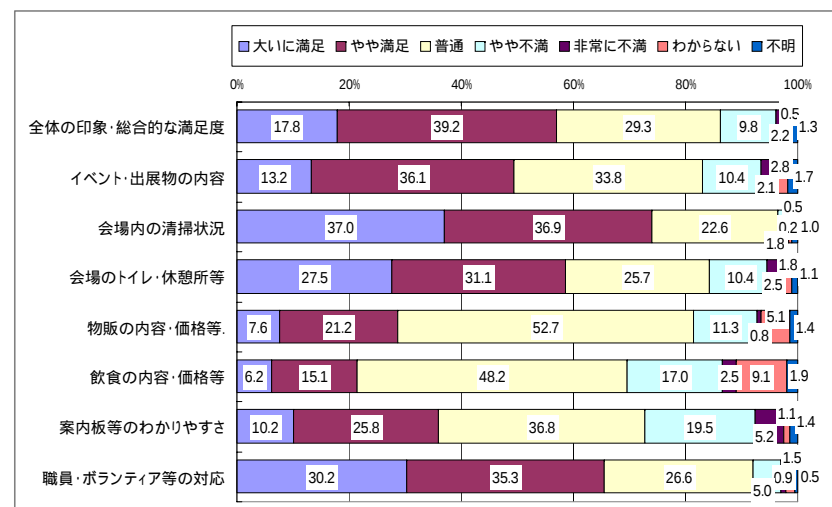
満足度

・平城宮跡、県内各地ともに、イベント・出展物の内容に「大いに満足」「やや満足」と評価した人の合計は約5割、「普通」を含めると約8割であり、概ね良い評価を得ている。

- ・平城宮跡で「大いに満足」「やや満足」の評価を得たものは、
会場内の清掃状況 37.0% (やや満足: 36.9%)
職員・ボランティア等の対応 30.2% (やや満足: 35.3%)
会場のトイレ・休憩所等 27.5% (やや満足: 31.1%)

ボランティア等による清掃活動や日々改善の取り組みが評価されたものと考える。

●平城宮跡事業



●「巡る奈良」事業(県内各地)

